

【みどりの将来像の実現に向けた「みどりとみどりをつなぐ」段階的な考え方】

札幌の骨格のみどり

環状グリーンベルト、コリドー、都心部のみどりづくりを進め、札幌の骨格となるみどりづくりを行います。

将来像

環状グリーンベルト		札幌らしい山並みや農地・草地などが保全され、市街地周辺のみどりのネットワークづくりが推進されます。CO ₂ 削減や大気浄化といった環境保全や、多様な生物の生息空間が確保されます。
コリドー		主要な道路や河川のみどりが保全・創出・連続化され、特色あるみどりの軸がつけられるとともに、多様な生物の移動空間が確保されます。
都心部		都心部の各種プロジェクトにおいて、みどりが保全・創出され、札幌の顔にふさわしいみどり豊かな景観が形成されます。

地域を越えた特徴あるみどり

水を中心としたネットワーク、街路を中心としたネットワーク、公園などの拠点(活動の中心となる場=コア)となるみどりづくりを進め、地域を越えた特徴あるみどりづくりを行います。

将来像

水を中心としたみどりのネットワーク		河川とその周辺のみどりがネットワーク化され、水とみどりの景観軸がつけられるとともに、生物の移動空間が確保されます。
街路を中心としたみどりのネットワーク		街路樹が適正に配置・育成されるとともに、花を活用した美しく快適な歩行空間をつくることで、札幌の軸となる道路景観が形成されます。
公園などの拠点となるみどり		拠点となる公園と重要な公共施設のみどりづくりを進めることで、特色ある景観がつけられるとともに、防災機能の充実が図られます。

私たちの身近なみどり

地域の状況に応じたみどり豊かな市街地づくりを進め、私たちの身近なみどりづくりを行います。

将来像

みどり豊かな市街地		緑化重点地区のほか、それぞれの地域で、特徴あるみどりづくりが進められ、地域の歴史や文化が薫る市街地景観が形成されます。
-----------	--	---

Ⅱ みどりの将来像の実現に向けた目標

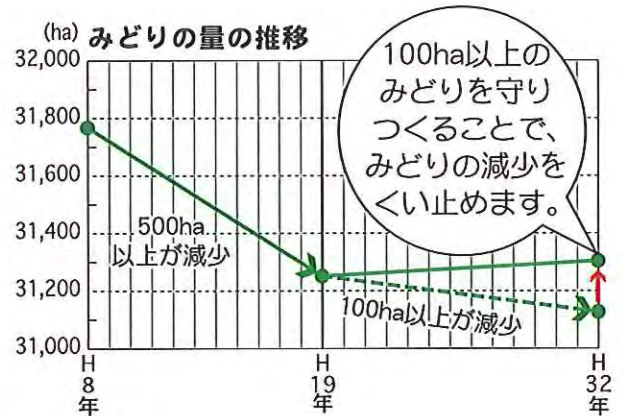
札幌市が目指すみどりの将来像を実現するため、全体としてのみどりの量(総量)の目標を定めるとともに、4つの将来像それぞれに量と質に関する目標を定めて計画を進めていきます。

■ 総量目標

● 新たに多様なみどりを創出します。

この10年間で、開発などにより500ha以上のみどりが減少しています。また、これからの10年間でも100ha以上(札幌ドーム野球グラウンド約70面分)のみどりが失われると予想されます。

そこで、新たな計画では、市民・企業・行政など、みんなで今あるみどりを守り、家庭の庭やコミュニティガーデンなどの協働によるみどりづくりや公園の造成により、身近な暮らしの中に、新たに多様なみどりを創出します。



目標	みどりの量	
	現況値	目標値(H32)
○新たに多様なみどりを創出します	31,225ha	現況値以上

※みどりの量は、都市計画区域の樹林地、草地、農地、水面の合計面積

● 「私たちが守り・はぐくむみどり」に向けた目標

市民・活動団体・企業など、より多くの人々がみどりの活動にかかわっていくことを目指し、「みどりづくりなどに参加した市民の割合」を目標に定めるとともに、その活動が充実して継続されることを目指し、「みどりづくりなどに今後も参加したいと思っている市民の割合」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○みどりづくりなどに参加した市民の割合	39.0% ※	3割増(50%)
○みどりづくりなどに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合	78.9% ※	現況値以上

※の現況値は市民アンケートによる数値

● 「私たちの歴史と文化が薫る個性豊かなみどり」に向けた目標

札幌市では、「都心まちづくり計画」によってさっぽろの顔である都心の魅力づくりに取り組んでいることから、みどりの基本計画における街中のみどりの創出についても、都心部での取組みを喫緊の課題としています。このため、「都心部樹林率」を目標に定めるとともに、都心部の景観の向上を目指し「都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○都心部樹林率	8.9%	1割増(10%)
○都心部がみどり豊かであると感じている市民の割合	68.7% ※	1割増(75%)

※の現況値は市民アンケートによる数値

●「地球環境を守り、私たちと自然が身近に共生するみどり」に向けた目標

市街地や街をとりまくみどりを守り、未来の札幌を担う子どもたちにつなげていくことを目指し、「保全されているみどりの面積」を目標に定めるとともに、市民などの森林の育成管理や自然とのふれあいイベントが充実して継続されることを目指し、「森林の保全活動に参加した市民の割合」を目標に定めます。
(保全されているみどりの面積とは、都市公園、都市環境林、市民の森、地域のみどり、公共施設のみどりのほか、法律や条例などによって守られているみどりを指します。)

目標	現況値	目標値(H32)
○保全されているみどりの面積	21,330ha	370ha増(21,700ha)
○森林の保全活動に参加した市民の割合	4.0% ※	2倍(8%)

※の現況値は市民アンケートによる数値

●「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」に向けた目標

市民にとって身近なみどりである公園について、さまざまな役割を効果的に発揮し、市民が安心して安全に活用していくための機能の充実を目指し、「公園機能の見直しを図った公園の数」を目標に定めるとともに、公園の環境保全、景観創出、活動の拠点などの機能に対する市民の満足度の向上を目指し、「身近な公園に対する市民の満足度」を目標に定めます。

目標	現況値	目標値(H32)
○公園機能の見直しを図った公園の数	305か所	400か所増(705か所)
○身近な公園に対する市民の満足度	58.9% ※	1割増(65%)

※の現況値は市民アンケートによる数値

<参考> 都市計画法に基づく札幌市域の区分

